

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
成人看護学方法論Ⅴ	4年次 前期	必修	講義	1単位（15時間）	野上 聡子 ※
授 業 概 要					
終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者・家族の特徴を知り、患者・家族の苦痛を緩和し最期まで生きることを支える看護を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 緩和ケアを必要とする患者・家族に対する看護の特徴を述べる。 2. 終末期にある患者・家族の全人的苦痛をアセスメントし緩和する援助について述べる。 3. 人生の最期を迎える患者・家族の想いを理解し、最期までその人らしく生きることを支える看護について考えを述べる。					
実務経験のある教員					
野上 聡子： 終末期にある対象への看護がどのように展開されているのかを臨地での看護の経験を踏まえて教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	1. 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護 1) がん患者 2) 慢性疾患患者 2. 終末期にある患者と家族への看護（エンド・オブ・ライフ・ケア） 1) 症状アセスメントとマネジメント 2) 全人的苦痛のアセスメントとマネジメント 3) 苦痛緩和と意思決定支援 4) 予期的悲嘆に対するアセスメントとケア 5) アドバンス・ケア・プランニング 6) 家族ケア 3. 臨死期の看護 1) 身体的・心理的ケア 2) 家族の悲嘆へのケア，代理的意思決定支援 3) 脳死状態への対応 4) 死亡後のケア 5) グリーフケア				野上 聡子 ※
学 習 方 法					
講義・グループワーク形式で進める。限られた時間で多くの内容を行うので、学習内容に関連する既習の知識については自己学習、事前学習が必要である。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験・レポートにより評価を行う。 評価の詳細は講義の初回に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 新体系看護学全書 経過別成人看護学④ 終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア 田村恵子編 メヂカルフレンド社					